

ふくしましやくしよひがしとう  
福島市役所東棟



福島市



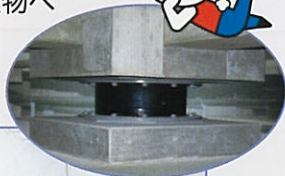
# 東棟3つの特徴

## 1 災害対策の中心

災害(地震や大雨)が起きたとき、すぐに災害活動ができるように、いろいろな設備があります。

停電のとき、「非常用自家発電装置」により、建物内で3日間、電気を使うことができます。

建物の下にある「免震装置」は、地震のときの揺れを建物へ伝わりにくくします。



建物と地面の間にある免震装置

## 2 誰でも使いやすい、ユニバーサルデザイン

トイレや廊下、エレベーターなど、お年寄りや体が不自由な方にも安全で使いやすいように工夫をしました。

たくさんの方々がよく利用する窓口を1階と2階に集め、便利で利用しやすい建物にしました。2階には、赤ちゃんにミルクをあげたり、おむつを替えることができる部屋があります。



体が不自由な方も利用しやすい多目的トイレ

## 3 環境共生

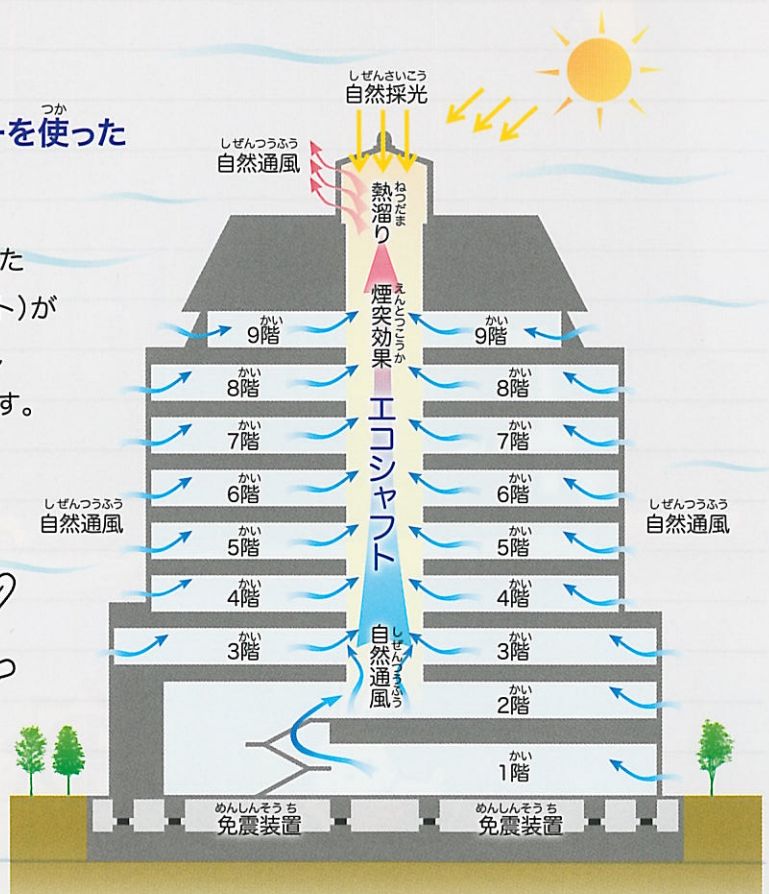
空気や雨水など、自然のエネルギーを使った地球にやさしい庁舎です。

3階から9階までの廊下に、ガラスでできた大きなえんとつのようなもの(エコシャフト)があります。外の空気を部屋の中に取り入れ、涼しくすることで、冷房代などを節約します。

雨水や地下水をトイレの流し水や植木に使っています。



空気の通り道をつくるエコシャフトの中



# 市役所ができるまで



完成から60年近くたった旧庁舎(前の市役所)

エレベーターがなく、階段を昇るのが大変

古く、また、段差もある

窓口があちこちにあって探すのが不便



庁舎を建てるにはお金がかかるしなあ…。



どんな市役所にするか、たくさんの方々から意見を聞いて計画を進めてきました。

- 市議会議員(選挙で選ばれた人たち)の皆さん
- 市民の代表の皆さん

大学の先生、まちづくりにくわしい人、体の不自由な人、市役所の近くに住んでいる人 など

市役所では、昭和43年から約40年間、毎年少しずつお金の積み立てをして、庁舎が建てられるお金ができました。



懇談会のようす



車いすで誘導ブロックの段差を確認



完成!

平成22年10月末に東棟が完成しました。

市役所(東棟)を建てるのにかったお金

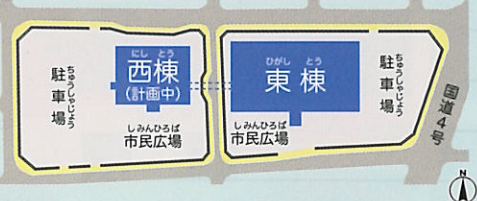


そのほか、土地、OAシステム、設計、備品などのお金……約45億円

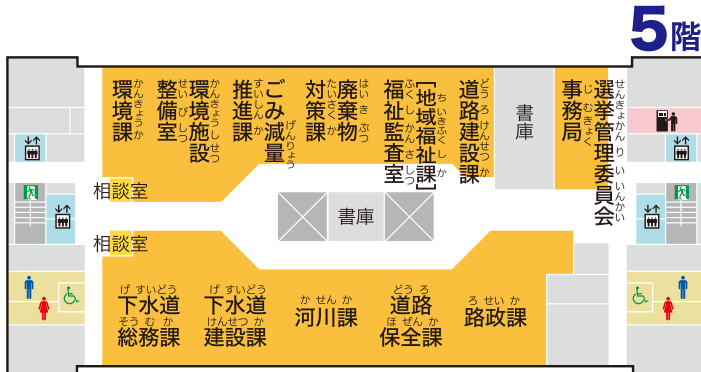
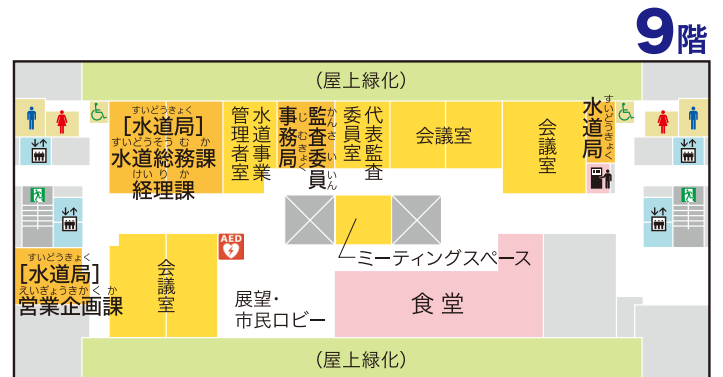
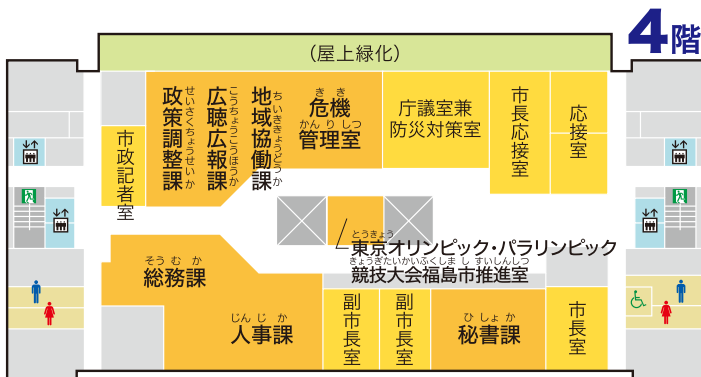
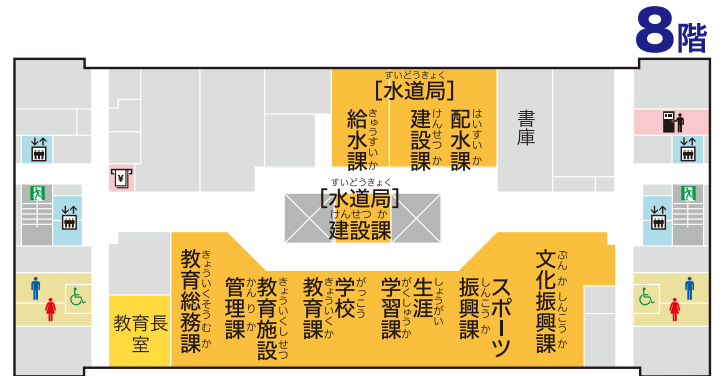
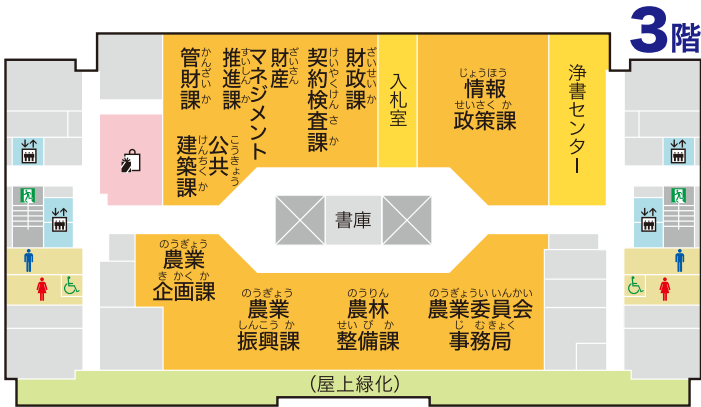
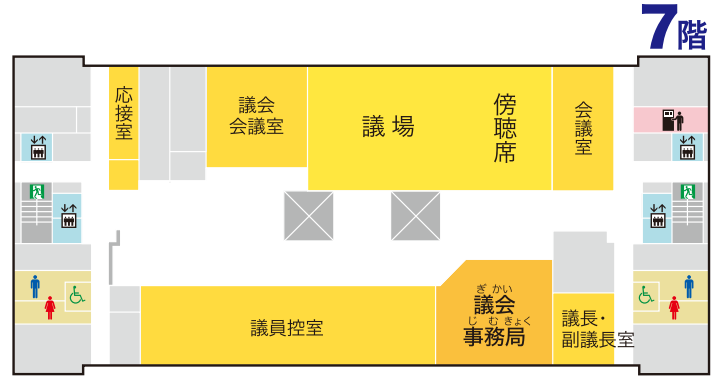
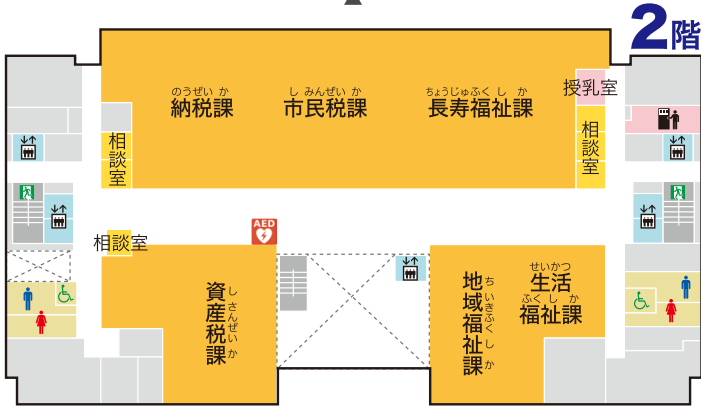
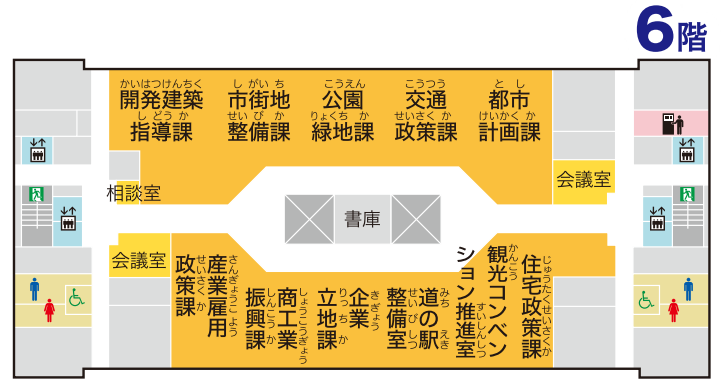
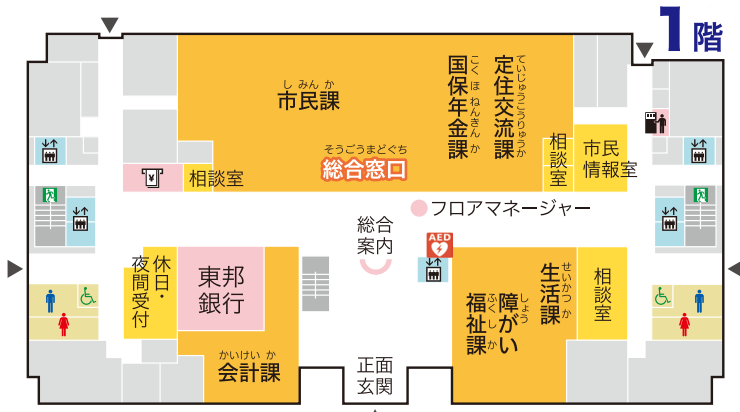
このお金のほとんどを、昭和43年から積み立ててきました。

西棟の特徴(計画中)

西棟(地下1階、地上5階建て)は、市民の皆さんが会議やイベントなどで使える市民利用施設や議場などがある建物です。災害の時には、市民利用施設や市民広場を一時避難場所として使います。また、建物の地下へは非常食などを保管する倉庫、そして、西棟敷地の地下には、100㎡の耐震貯水槽(飲み水などをたくわえる水槽)を設置します。



# 市役所本庁舎フロアマップ



- トイレ
- 多目的トイレ
- エレベーター
- 自動販売機
- 売店
- ATM
- AED
- 非常口
- エコシャフト

※環境再生推進室(総務管理課・輸送対策課)は本庁舎西側・臨時事務室1階

※10階は電気室・機械室

住所: 〒960-8601 福島市五老内町3番1号  
電話: 024-535-1111 (代表)

